



筑前町

保存版

ハザードマップ

防災

命を守るために
防災意識を高めましょう！

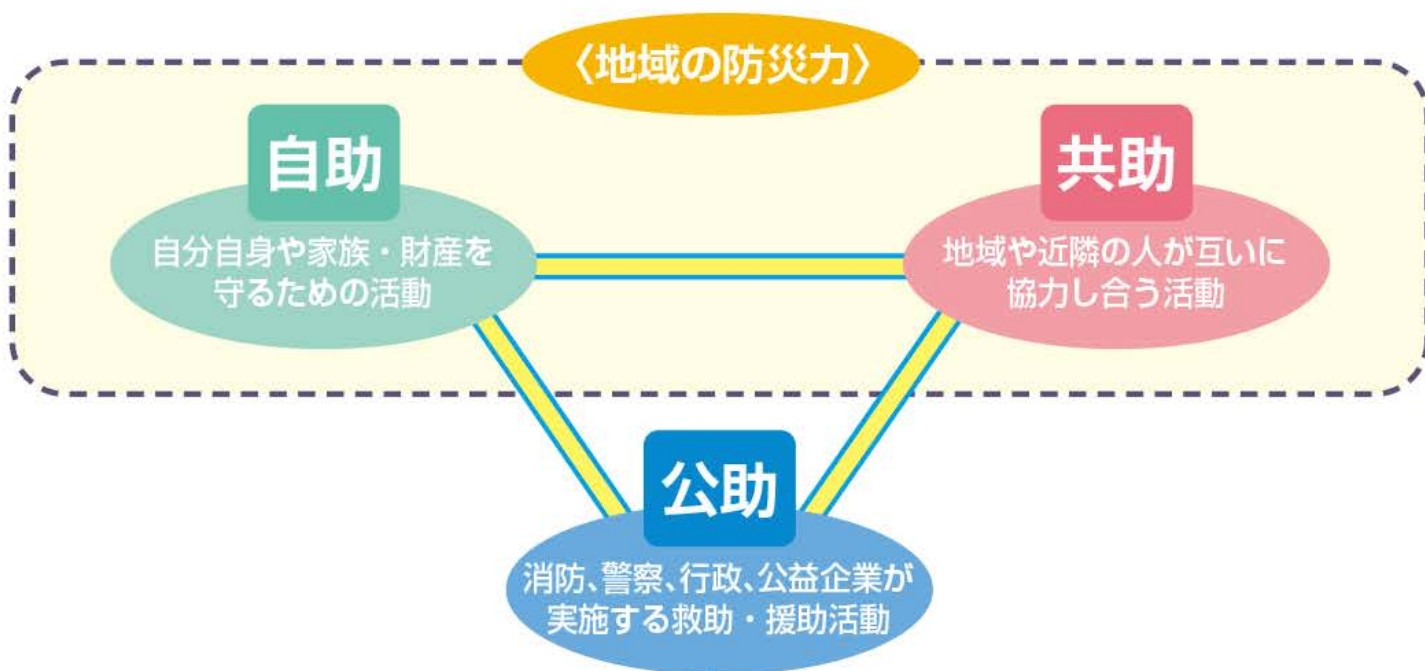
住民の皆様へ

「筑前町ハザードマップ」発行によせて

このたび水防法の改正を受け、福岡県が「想定し得る最大規模の降雨」による浸水想定区域を公表したことにより、それらの情報を提供し災害に対して事前の備えに役立てていただくことを目的に「筑前町ハザードマップ」を更新いたしました。

近年、局地的な集中豪雨や土砂災害が全国各地で多発し災害が激甚化していますが、ゲリラ豪雨や土砂災害の発生はその予測が難しく、日頃の備えや緊急連絡体制の整備が重要になります。

本町では「災害に強いまちづくり」を掲げ、様々な防災・減災の取り組みを進めておりますが、ひとたび発生した災害から自らを、そして地域を守るためには、何よりも住民の皆様一人ひとりに防災意識を高めていただき、自主防災組織や消防団の活動を活発化させておく必要があります。



この「ハザードマップ」は、浸水想定区域、土砂災害危険箇所や避難所などを掲載しており、様々な災害に対する知識と備えをまとめておりますので、ご家族で災害対策について話し合ってください際にぜひともご活用いただくとともに、自主防災組織などの活動にも役立てていただきますようお願いいたします。

結びに、この「ハザードマップ」を通じて、住民の皆様と行政が連携・協力し「災害に強いまちづくり」の実現にむけて、全力をあげて取り組んでまいりますので、住民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

発行：筑前町 制作・著作：株式会社ゼンリン福岡営業所 作成：令和2年3月

「この地図は、筑前町長の承認を得て、同町発行の1/2,500基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 30筑都第364号)」

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分1地方図、2万5千分1地形図及び電子地形図25000を使用した。

(承認番号 平29情使、第444-1363号)」

(禁無断複製) ©2020 ZENRIN CO., LTD



ハザードマップの使い方

このハザードマップは、災害の発生により被害が想定される内容、場所を事前に知っていただき、災害に備えていただくことを目的としています。

ハザードマップの使い方

① まず、自宅の位置を確認しましょう。

自宅がある場所は、どのような災害が予想されるのかを、地図をみて確認しましょう。



③ 災害想定区域を避けて、避難経路を決めましょう。

避難経路を地図で確認し、水害や土砂災害などの災害が想定される場所を避けて避難できるようにしましょう。



② 次に、自宅付近の避難所を確認しましょう。

災害に応じた自宅に一番近い避難所を地図で確認しましょう。



④ 実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう。

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。



想定最大規模の降雨量及び氾濫条件

① 降雨量

小石原川(筑後川水系)	24時間に969mmの大雨が降った場合
宝満川(筑後川水系)	24時間に926mmの大雨が降った場合
穂波川(遠賀川水系)	24時間に989mmの大雨が降った場合
大刀洗川(筑後川水系)	24時間に1055mmの大雨が降った場合

② 氾濫条件

河川の測量断面(概ね200mごと)を想定破堤点とし、計画高水位に達した場合に破堤することを基本条件とする。

目次

● ハザードマップの使い方.....	01	● 洪水ハザード情報について	27
● 避難所一覧	02	● 風水害・台風	28
● 避難情報	03	● 地震	29
● 全体区割図	04	● 防災対策&チェック.....	30
● ハザードマップ	05~25	● 非常時持ち出し品の準備&チェック	31
● 洪水・土砂災害	26	● 特別警報をご存じですか?	32

避難所一覽

指定緊急避難場所・指定避難所・福祉避難所

	名 称	住 所	災害対応（○：使用可能 ×：使用不可能）				指定 避難所	福祉 避難所
			洪 水	土砂災害	地 震	大規模 火災		
1	三並小学校グラウンド	三並1354-1	×	×	○	○		
2	中牟田小学校グラウンド	中牟田145-1	×	×	○	○		
3	東小田小学校グラウンド	東小田436-1	×	×	○	○		
4	三輪小学校グラウンド	新町400	×	×	○	○		
5	夜須中学校グラウンド	東小田3539-1	×	×	○	○		
6	三輪中学校グラウンド	久光1600	×	×	○	○		
7	町営三輪グラウンド	高上597-1	×	×	○	○		
8	ちくぜん少年大使館	高田2317-1	×	×	○	○		
9	夜須高原記念の森 東駐車場	櫛木3-6	×	×	○	×		
10	コスモスプラザ「敬老館」	篠隈373	○	○	×	×	●	●
11	夜須高原青少年自然の家	三箇山1103	○	○	×	×	●	
12	農業者トレーニングセンター	東小田1576-1	○	○	×	×	●	
13	三並小学校体育館	三並1354-1	○	○	×	×	●	
14	中牟田小学校体育館	中牟田145-1	○	○	×	×	●	
15	東小田小学校体育館	東小田436-1	○	○	×	×	●	
16	三輪小学校体育館	新町400	○	○	×	×	●	
17	夜須中学校体育館	東小田3539-1	○	○	×	×	●	
18	三輪中学校体育館	久光1600	○	○	×	×	●	
19	男女共同参画センター「リブラ」	新町440	○	○	×	×		
20	めくばーる「めくばり館」	久光951-1	×	×	×	×	●	●
21	社会福祉法人 障害者支援施設 菊池園	山隈1607-11						●
22	社会福祉法人 朝老園 特別養護老人ホーム朝老園 ひさみつ	久光1380-1						●
23	社会福祉法人朝倉社会事業協会 朝倉苑	原地蔵2226-3						●

■ **指定緊急避難場所**とは、災害時の危険を回避するため一時的に避難する場所

■ **指定避難所**とは、災害によって短期間の避難生活を余儀なくされた場合に、一定期間の避難生活を行う施設

■ **福祉避難所**とは、高齢や障がいなどの理由で指定避難所での避難生活が困難な方のために町が開設する二次的な避難所

避難情報

集中豪雨や台風などによって、水害や土砂災害などの災害が発生するおそれがあるとき、どの情報をもとに、どのタイミングで避難をするべきか？それぞれの状況に応じて避難できるよう、災害発生の危険度と住民の方々が取るべき行動を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えします。

<避難情報等>

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	既に 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	災害発生情報 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 〔市町村が発令〕
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難 をしましょう。 避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令 〔市町村が発令〕
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者 は避難を開始しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始 〔市町村が発令〕
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 〔気象庁が発表〕
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 〔気象庁が発表〕

<防災気象情報>

【警戒レベル相当情報(例)】

警戒レベル5相当情報

氾濫発生情報
大雨特別警報 等

警戒レベル4相当情報

氾濫危険情報
土砂災害警戒情報 等

警戒レベル3相当情報

氾濫警戒情報
洪水警報 等

(国土交通省、気象庁、都道府県が発表)

これらは、住民が自らの判断で避難行動をとるために**参考**とする情報です。

～各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。～

大雨のときの避難行動

避難は災害から命を守るための行動です。大雨による災害から身を守る避難行動は、従来、避難勧告等の発令時に行う指定緊急避難場所・指定避難所への避難が一般的でしたが、今後は次の**全ての行動を避難行動**とします。

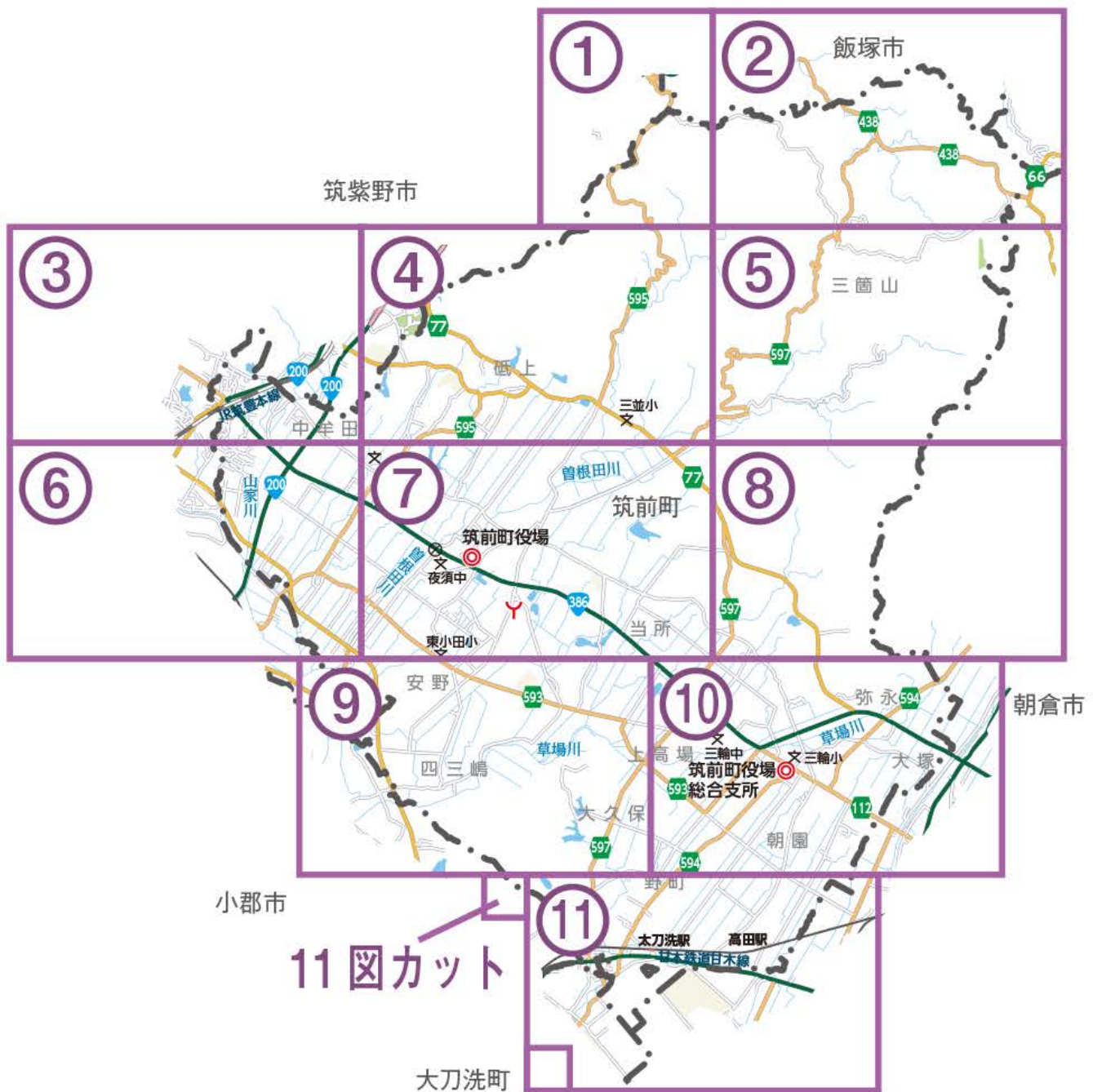
屋外が安全で移動できる状態のとき			屋外が危険な状態などのとき
1 指定緊急避難場所・指定避難所への移動	2 警戒区域等内の自宅などから移動し、安全な場所へ避難 (公園、親戚や友人の家等)	3 近隣の強固で高い建物等への移動	4 建物内の安全な場所での待避 (家屋内の垂直避難) やむをえず家屋内に留まった場合、安全を確保する避難行動として水害対策では建物の2階以上高いところへ、土砂災害対策には斜面と反対方向の高い部屋への移動が有効です。

避難における心得

- 「避難しよう」と判断するのはあなた自身です。避難することで助かるのは、「あなたの命」であることを強く認識してください。
- 過去の災害で大丈夫だったからといって安心できません。過去より悪い方向に状況が進む場合があります。
- 実際には災害が発生せず、避難したことが「空振り」に終わったとしても、「被害がなくて幸運だった」と前向きに受け止めましょう。
- 避難勧告等が発令されている区域はあくまでも目安です。その区域外でも、危険を感じたら速やかに避難する必要があります。



筑前町 全体区割図



◎ハザードマップについて

この地図は、大雨などによって発生する土砂災害や河川の堤防決壊により水が溢れた場合に予想される浸水範囲と水深をシミュレーションにより求めたものです。

日頃から大雨による浸水や土砂災害が発生する場所を把握しておき、あなたの家から避難所までの経路を確認しておきましょう。

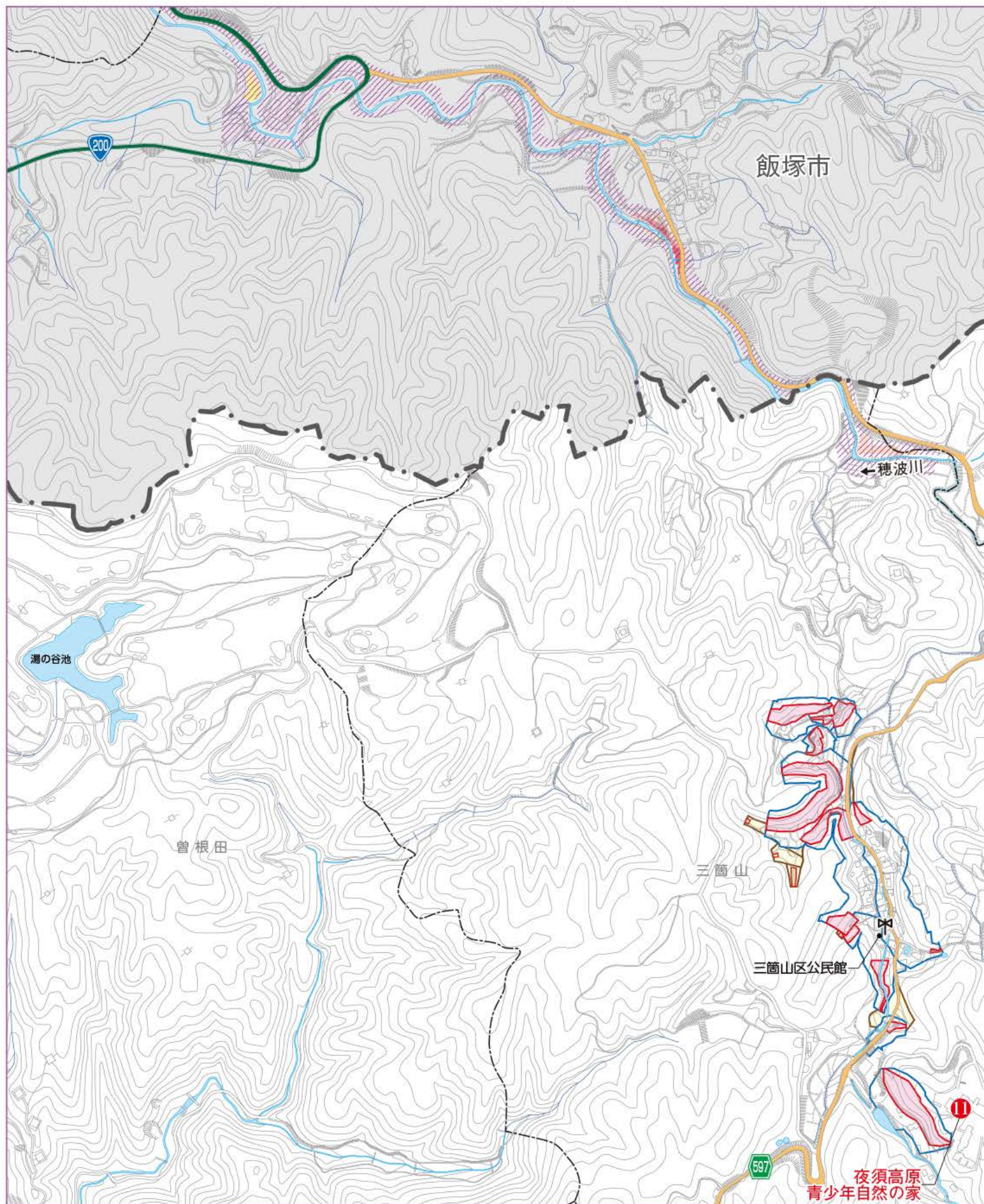
雨の降り方や河川の水位状況に注意し、危険を感じたら早めの自主避難を心がけ、町から避難勧告や避難指示(緊急)が出されたら、速やかに避難してください。

地図に示した「浸水想定区域」及び「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」以外の場所でも浸水や土砂災害などが発生する場合がありますので大雨の時は十分にご注意ください。

◎想定浸水深の目安

2階建ての家をイメージしています





浸水深

2階建ての家をイメージしています。



高さ5.0m以上
高さ3.0m～5.0m
高さ0.5m～3.0m
高さ0.5m

浸水深

5.0m以上
3.0m～5.0m未満
0.5m～3.0m未満
0.5m未満

活断層

活断層

活断層
(位置やや不明瞭)
活断層(伏在部)

縦ずれ

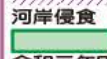


地形面の
傾動方向

河川氾濫及び
河岸侵食の危険箇所



氾濫流



河岸侵食

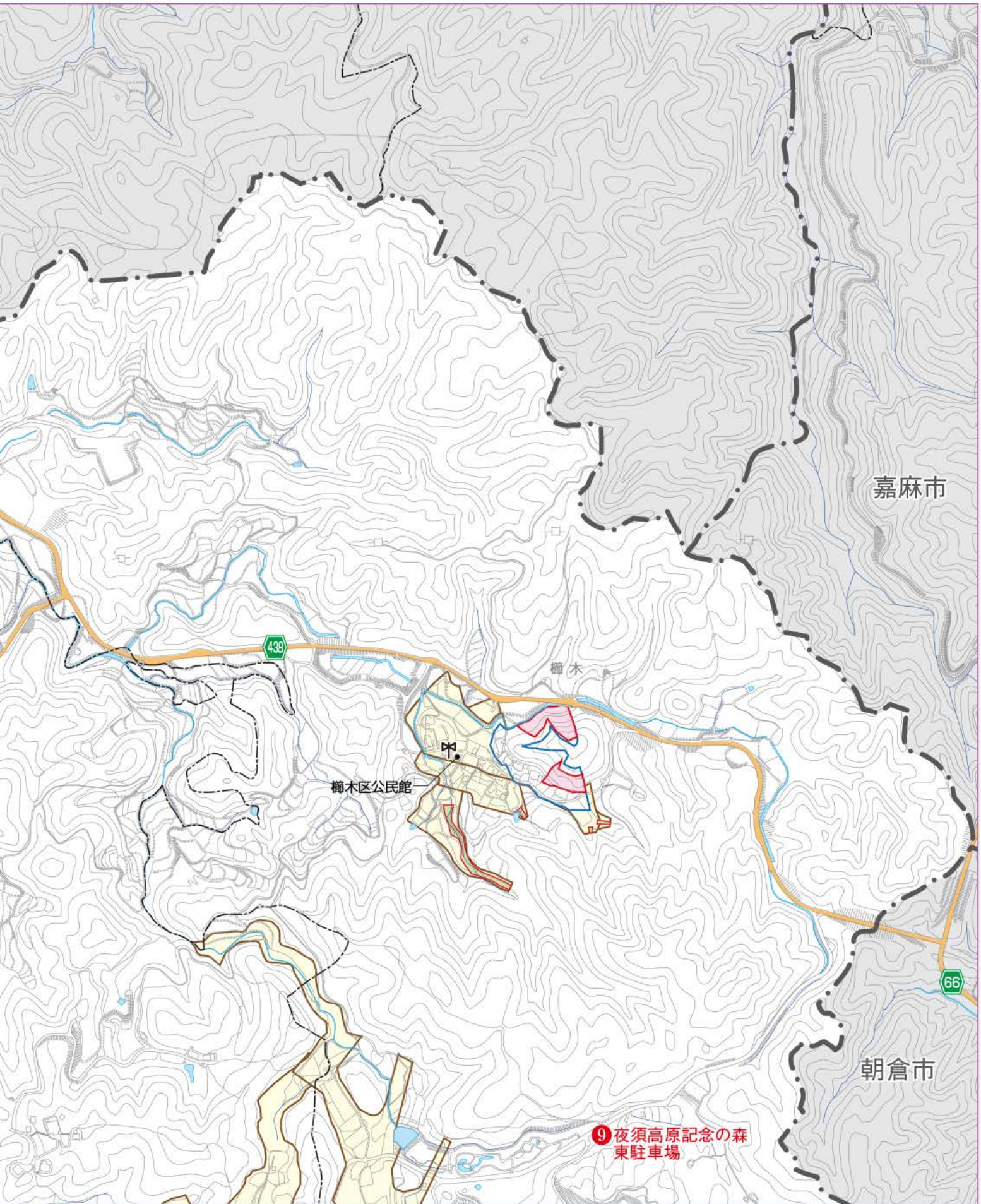
令和元年7月豪雨
浸水区域

土砂災害の
危険がある場所

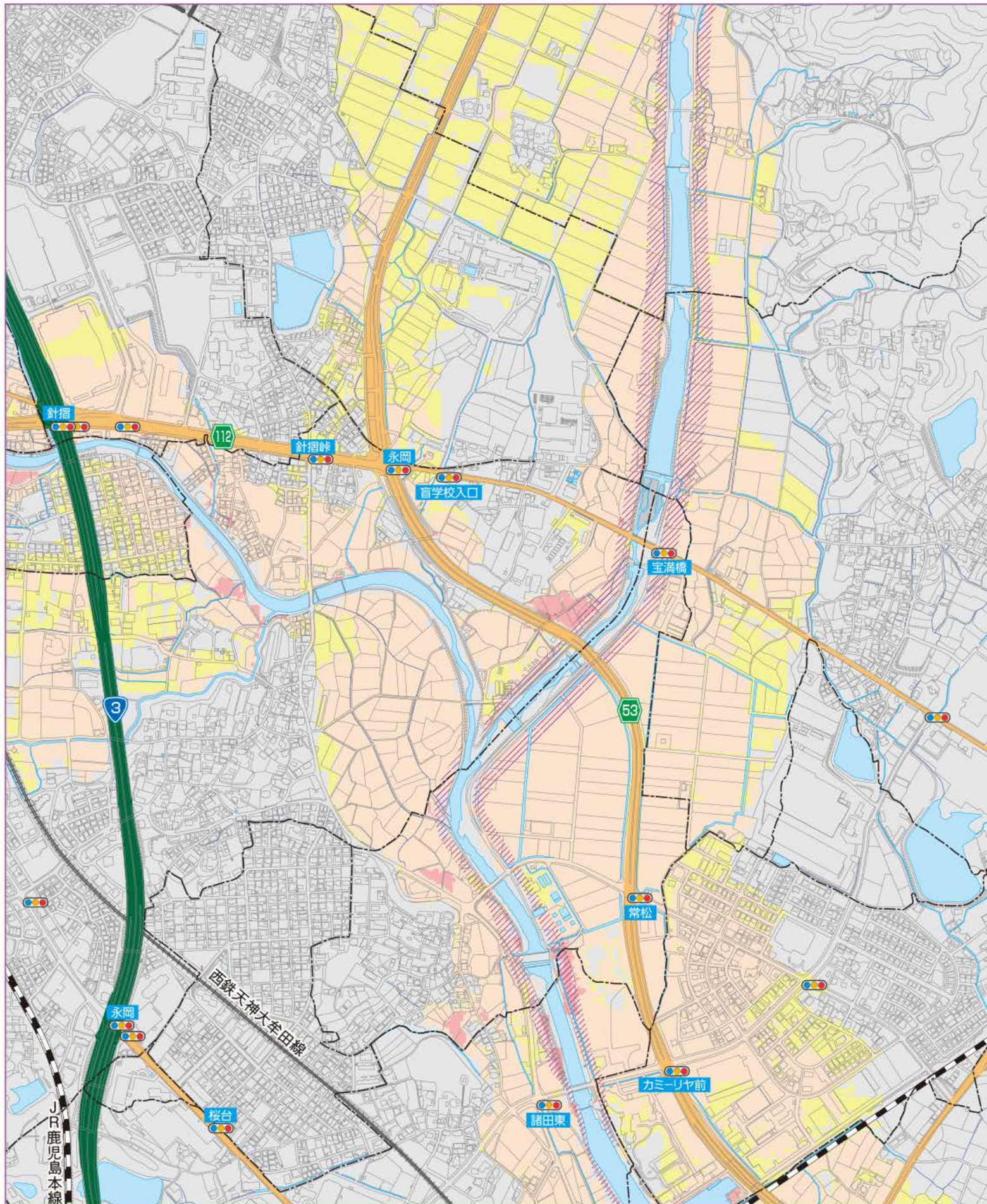
特別警戒区域
(土石流)
警戒区域
(土石流)



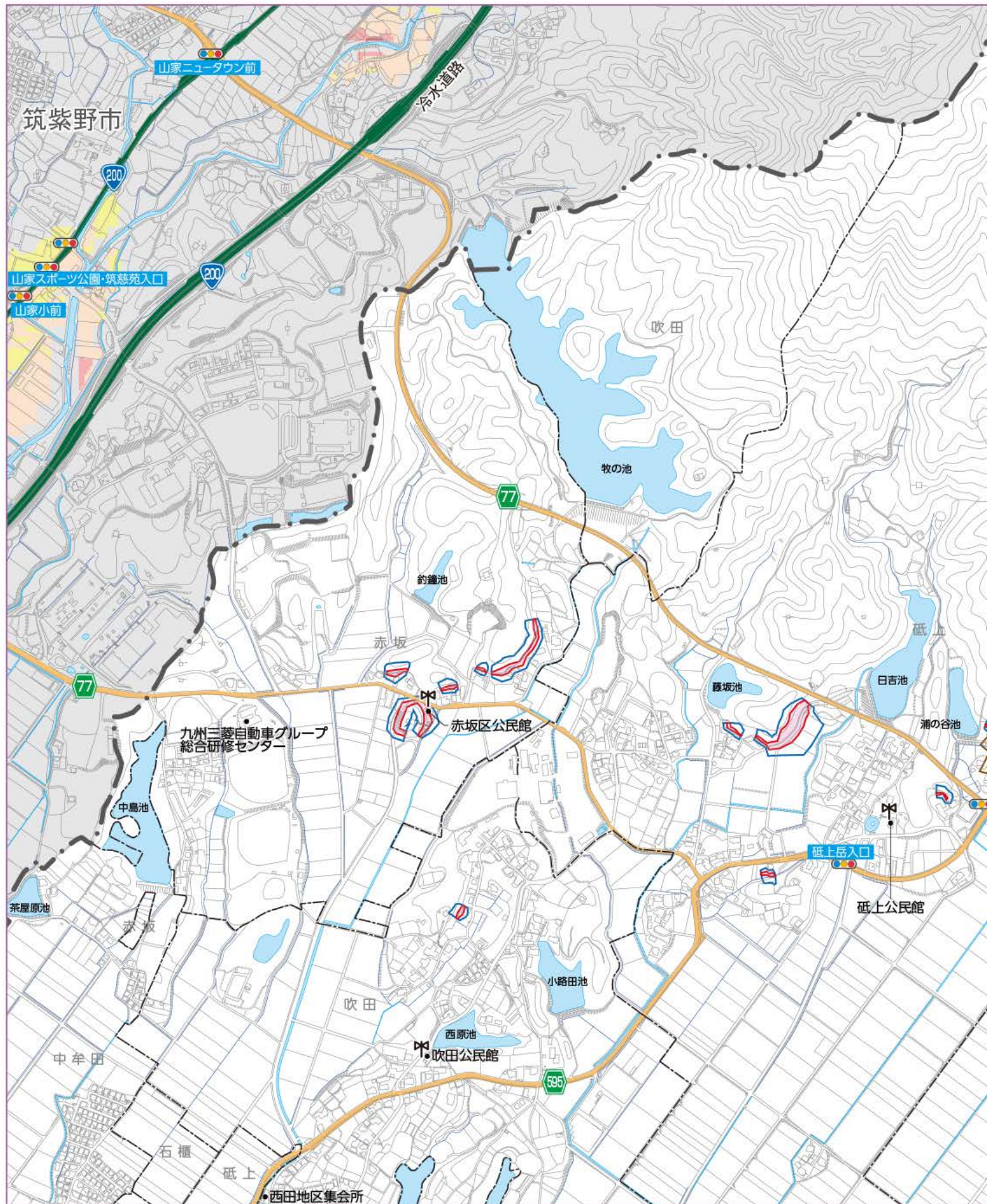
特別警戒区域
(急傾斜地の崩壊)
警戒区域
(急傾斜地の崩壊)



● 指定緊急避難場所 指定避難所 福祉避難所	町役場・支所	交番	市町境
消防署・消防団格納庫	JR	私鉄	
高速道路・有料道路	国道	県道	防災行政無線 拡声子局

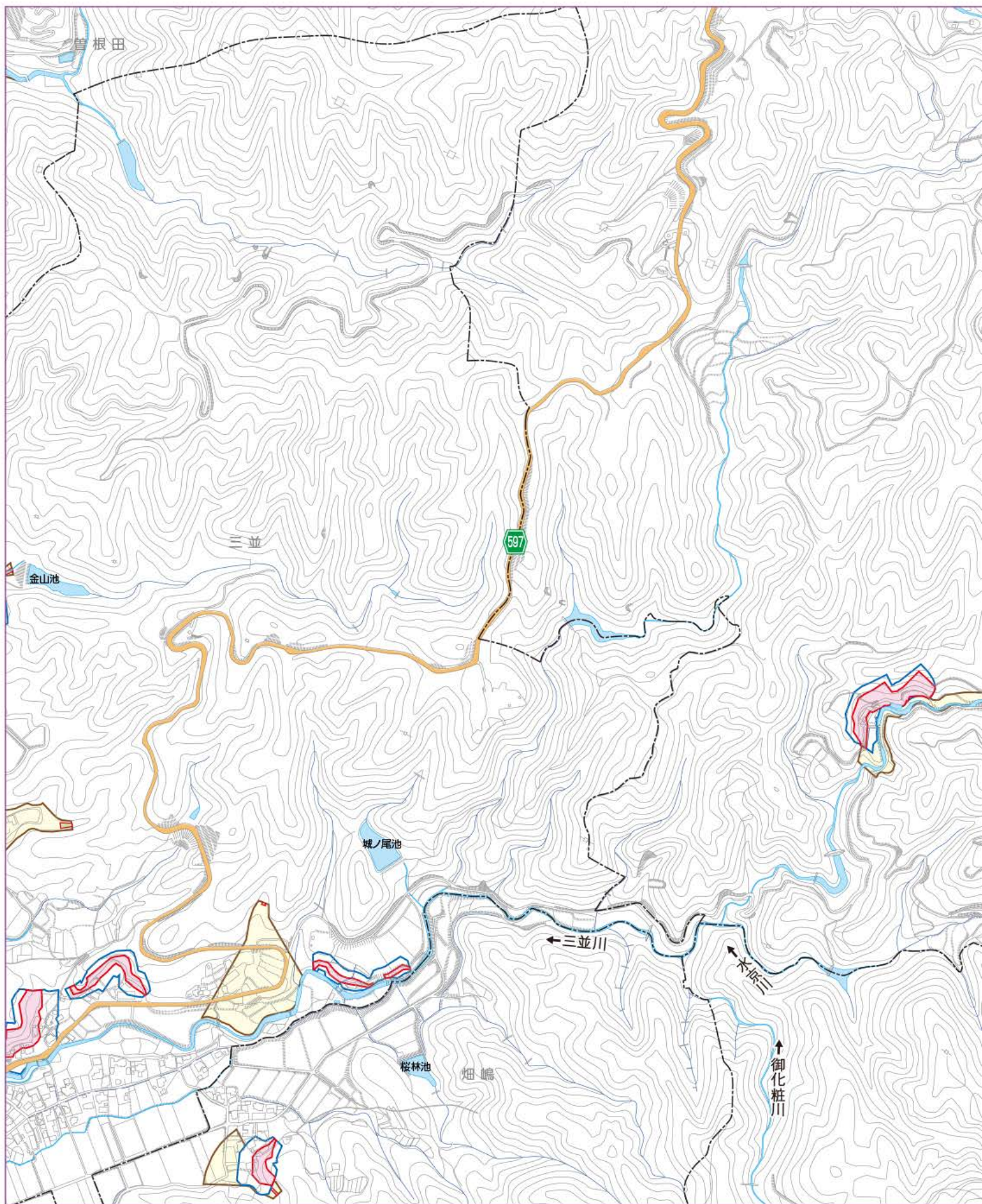


指定緊急避難場所 指定避難所 福祉避難所	町役場・支所	交番	市町境
	消防署・ 消防団格納庫	JR	私鉄
高速道路・有料道路	国道	県道	防災行政無線 拡声子局





● 指定緊急避難場所 指定避難所 福祉避難所	◎ 町役場・支所	⊗ 交番	市町境
Y	消防署・消防団格納庫	JR	私鉄
— 高速道路・有料道路	— 国道	— 県道	防災行政無線 拡声子局



浸水深

2階建ての家をイメージしています。



高さ5.0m以上
高さ3.0m～5.0m
高さ0.5m～3.0m
高さ0.5m

浸水深

5.0m以上
3.0m～5.0m未満
0.5m～3.0m未満
0.5m未満

活断層

活断層

活断層 (位置やや不明瞭)

活断層 (伏在部)

縦ずれ



地形面の傾動方向

河川侵食の危険箇所
氾濫流及び
河岸侵食



氾濫流

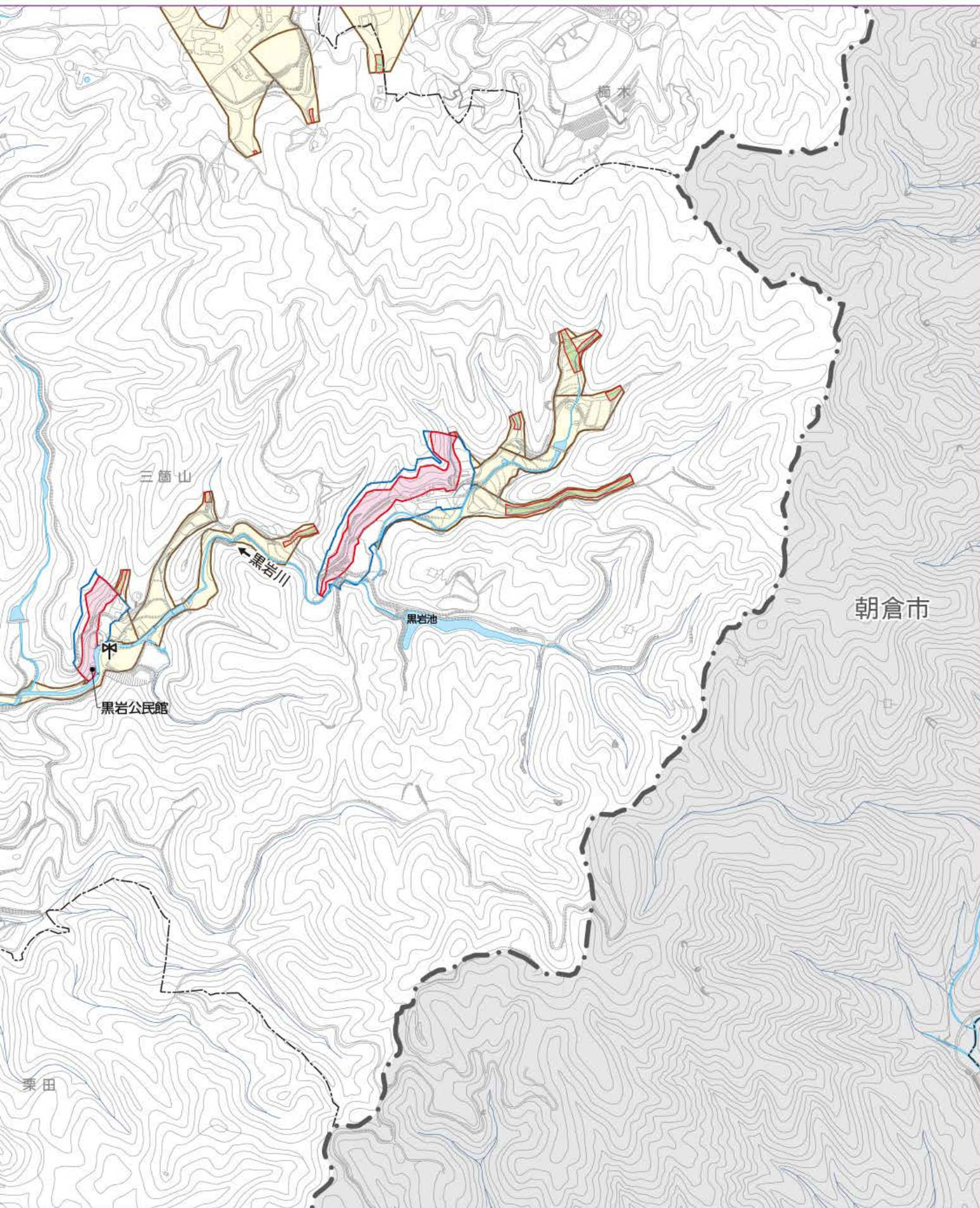
河岸侵食

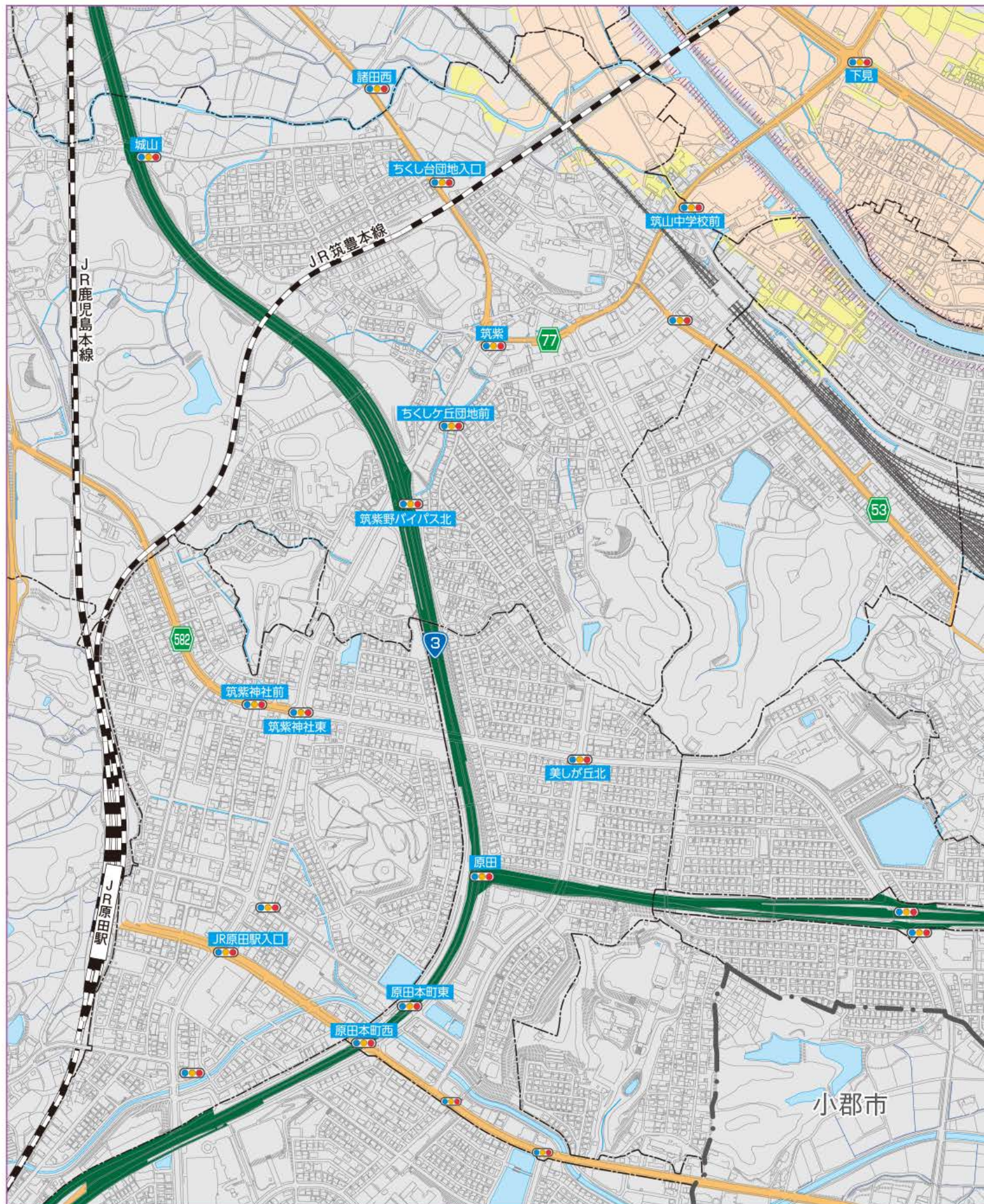
令和元年7月豪雨
浸水区域

土砂災害の
危険がある場所

特別警戒区域
(土石流)
警戒区域
(土石流)

特別警戒区域
(急傾斜地の崩壊)
警戒区域
(急傾斜地の崩壊)





浸水深



活断層

活断層
活断層
(位置やや不明瞭)
活断層(伏在部)

縦ずれ
地形面の
傾動方向

河岸侵食の危険箇所

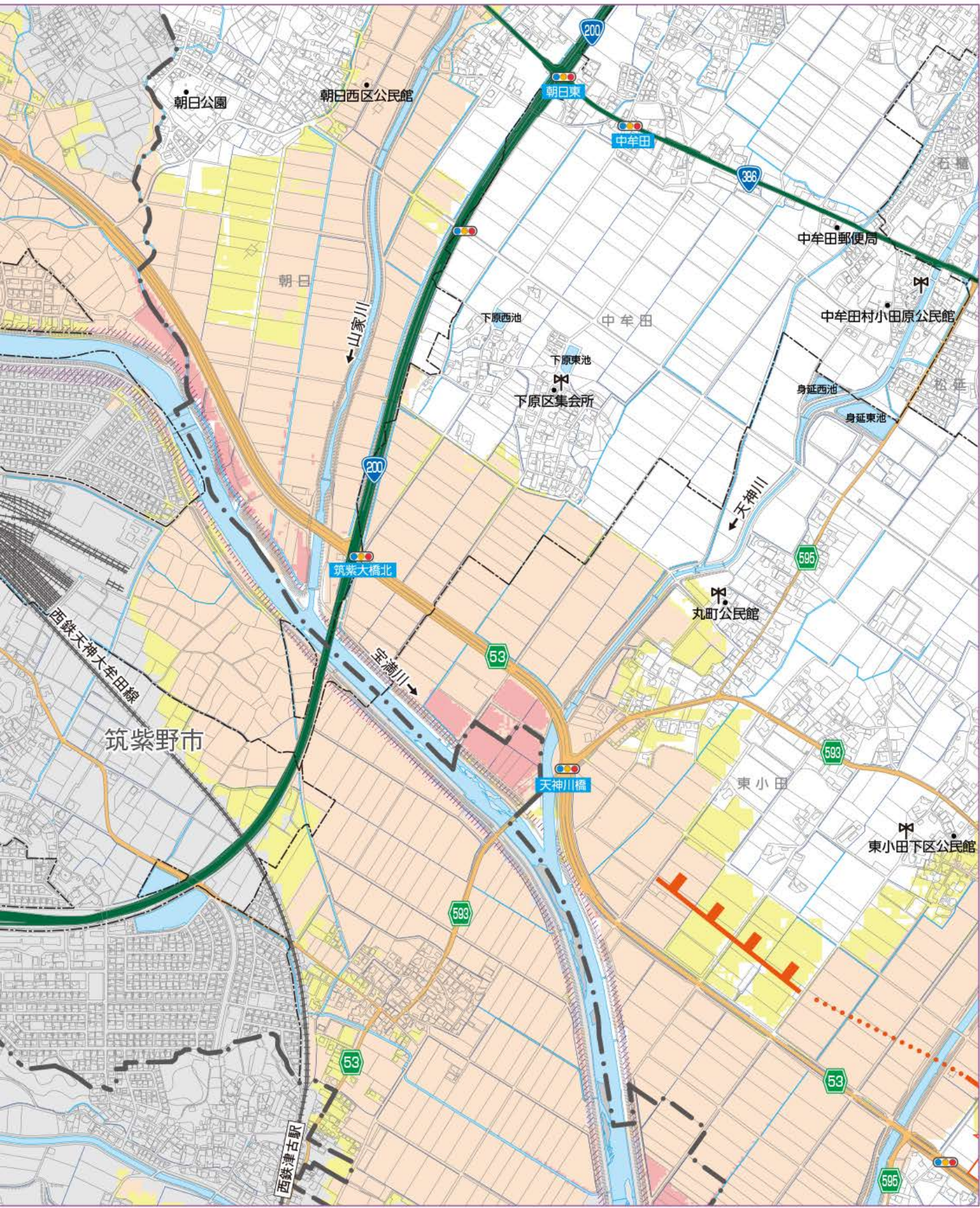
氾濫流及び

氾濫流
河岸侵食
令和元年7月豪雨
浸水区域

土砂災害の
危険がある場所

特別警戒区域
(土石流)
警戒区域
(土石流)

特別警戒区域
(急傾斜地の崩壊)
警戒区域
(急傾斜地の崩壊)

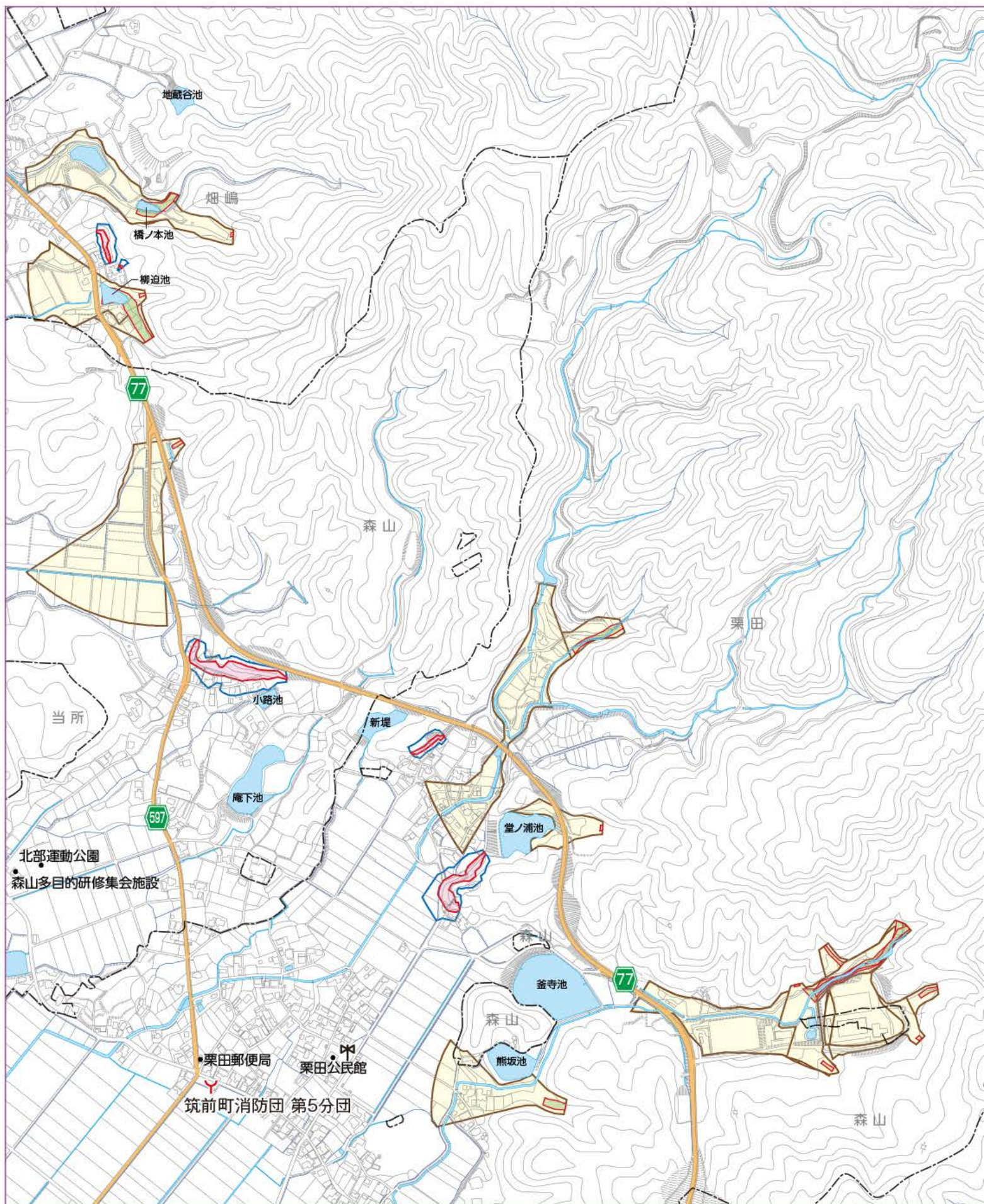


指定緊急避難場所 指定避難所 福祉避難所	町役場・支所	交番	市町境
	消防署・ 消防団格納庫	JR	私鉄
高速道路・有料道路	国道	県道	防災行政無線 拡声子局

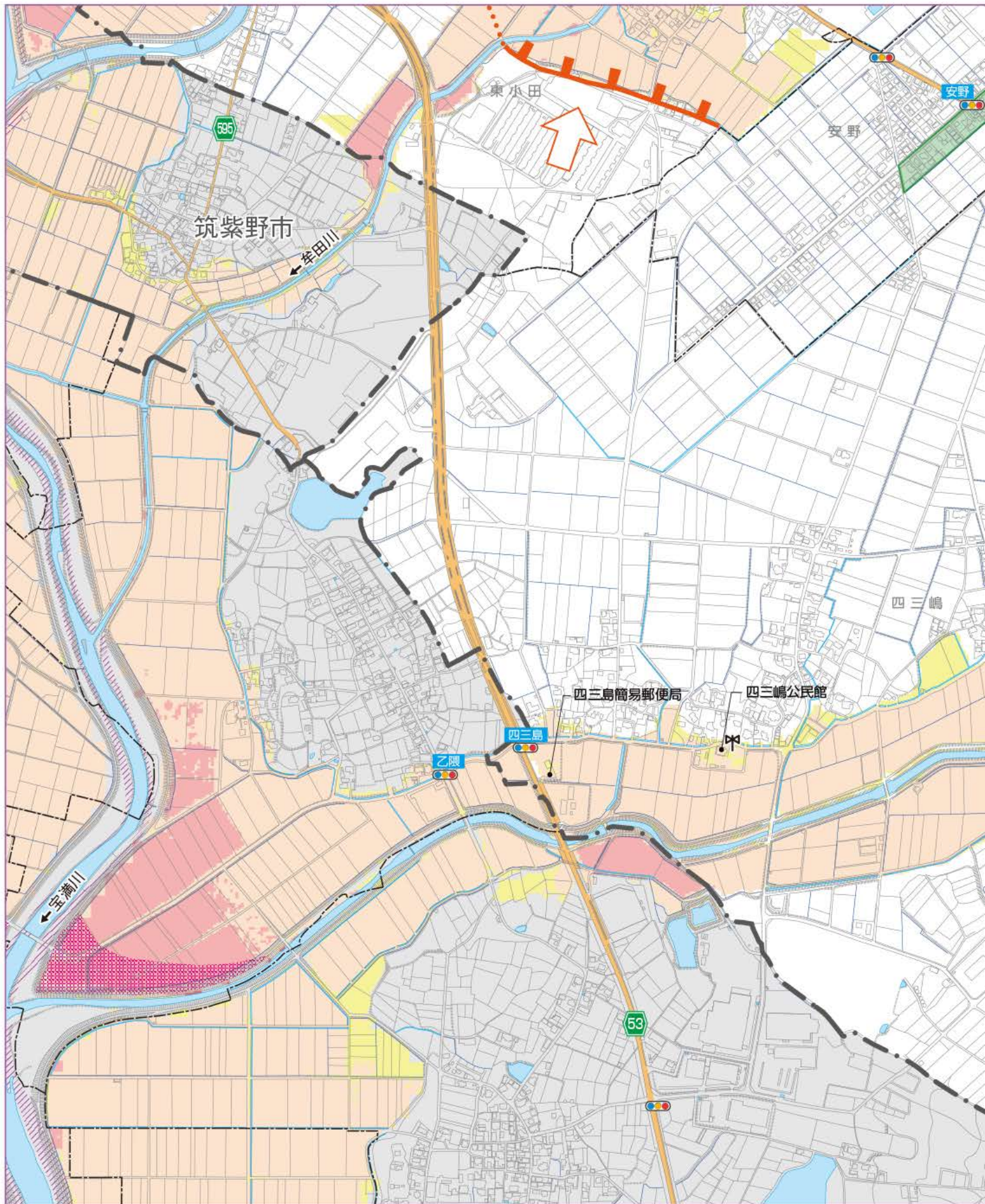


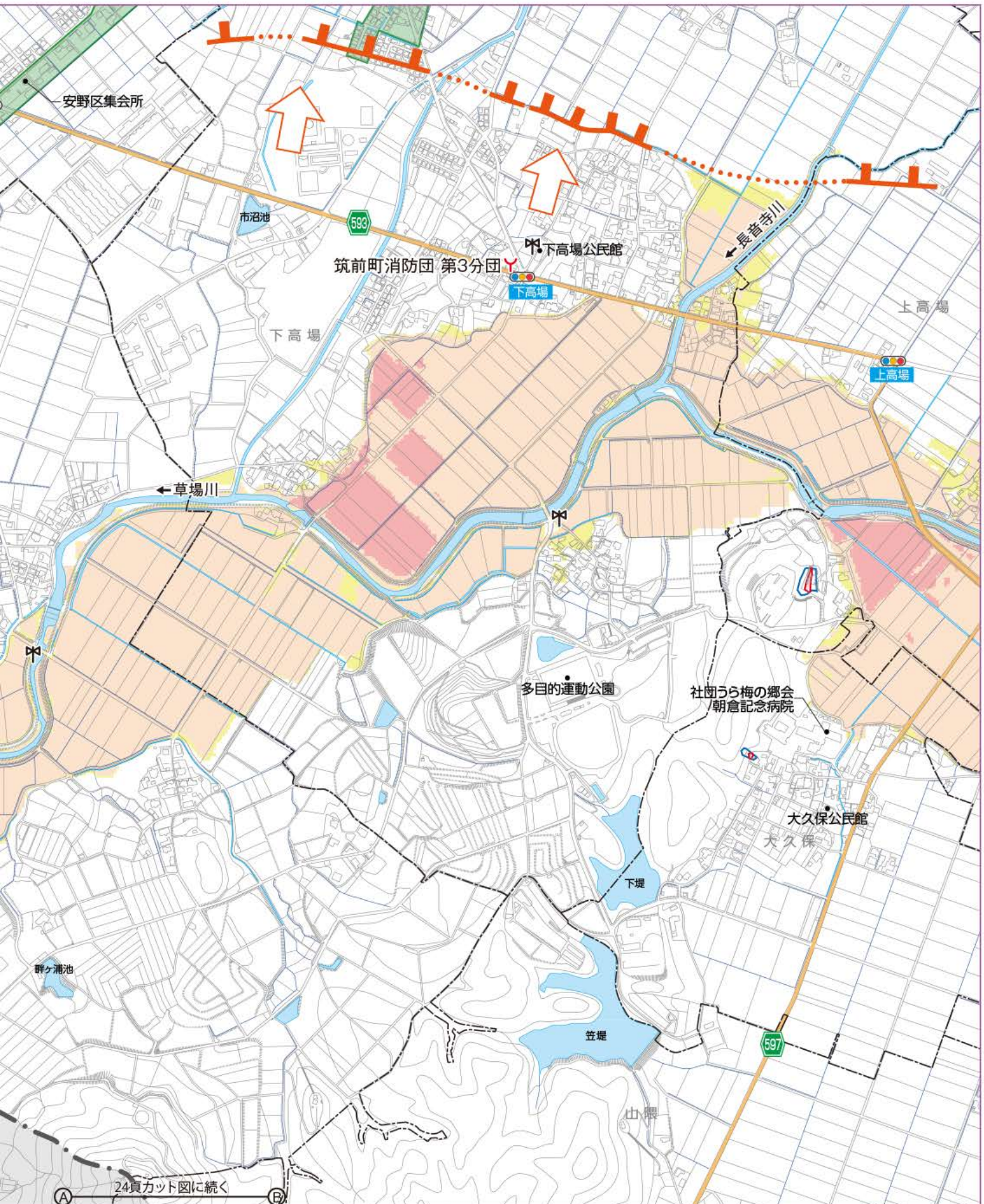


●	指定緊急避難場所 指定避難所 福祉避難所	◎	町役場・支所	⊗	交番	---	市町境
Y	消防署・ 消防団格納庫	Y	消防署・ 消防団格納庫	Y	JR	++++	私鉄
—	高速道路・有料道路	—	国道	—	県道	—	防災行政無線 拡声子局



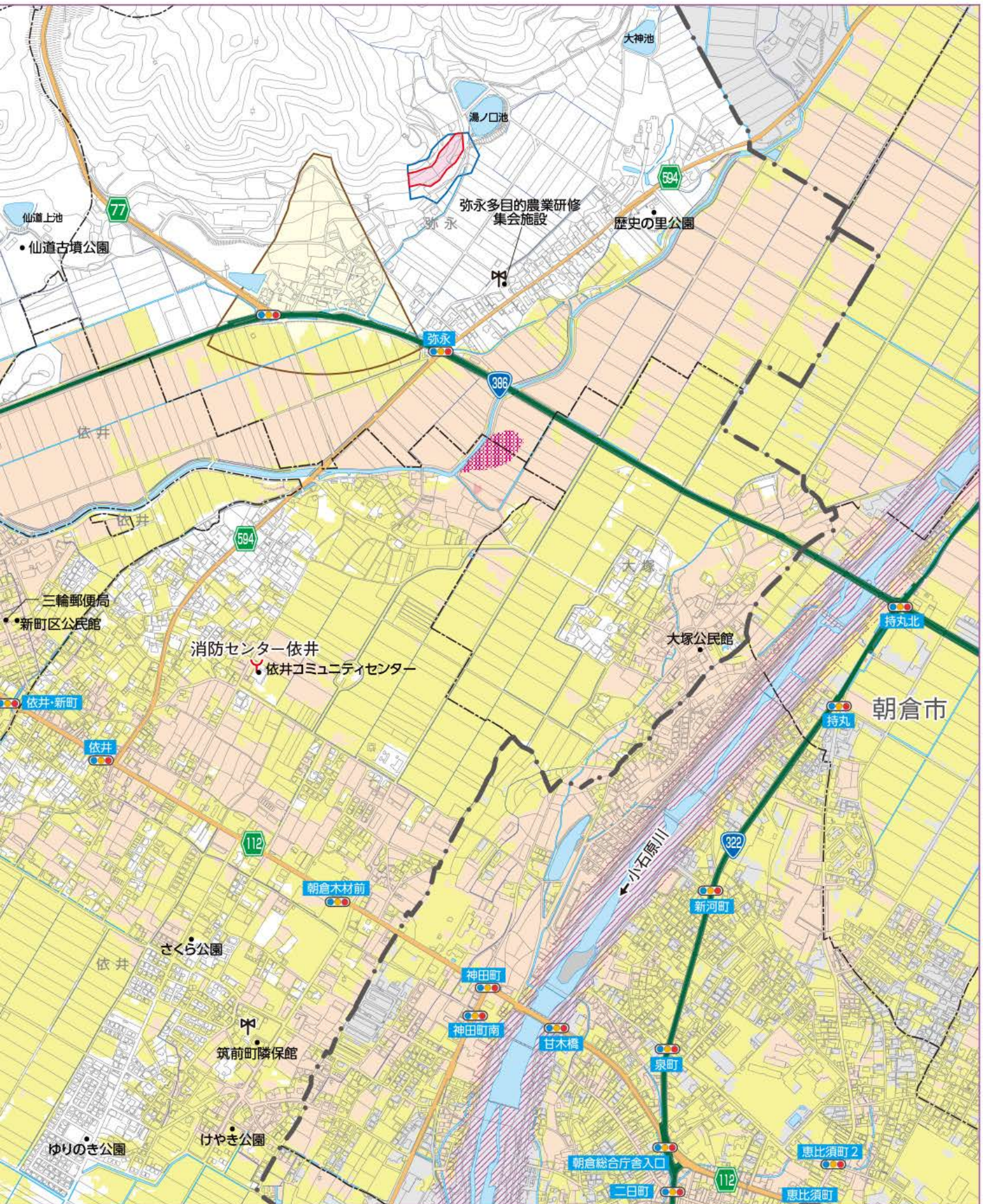
● 指定緊急避難場所 指定避難所 福祉避難所	◎ 町役場・支所	⊗ 交番	--- 市町境
Y	消防署・ 消防団格納庫	—	JR
—	高速道路・有料道路	—	JR
—	国道	—	県道
		—	防災行政無線 拡声子局

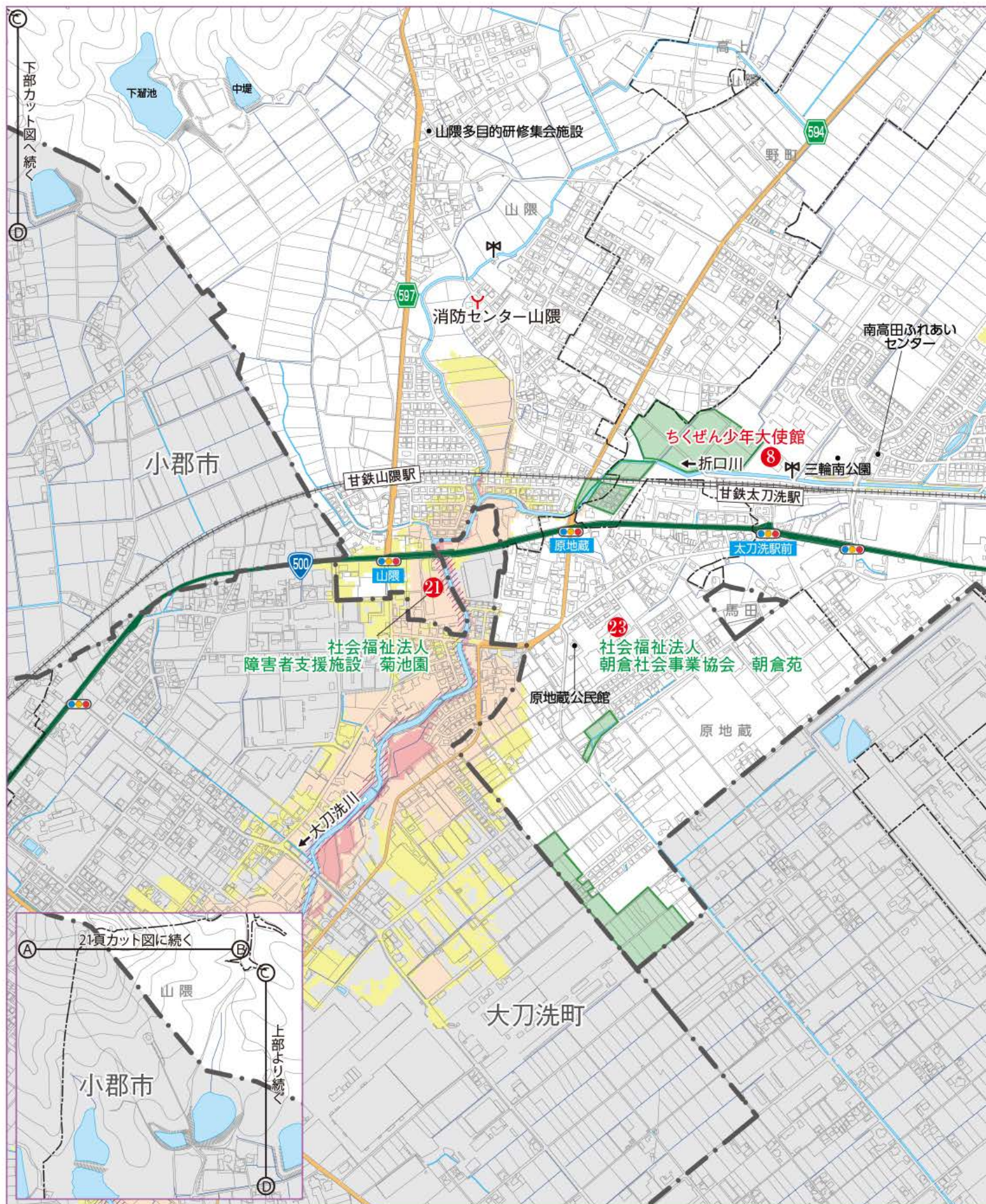




指定緊急避難場所	町役場・支所	交番	市町境
指定避難所	消防署・消防団格納庫	JR	私鉄
福祉避難所	国道	県道	防災行政無線 拡声子局
高速道路・有料道路			







浸水深

2階建ての家をイメージしています。



浸水深	
高さ 5.0m以上	5.0m以上
高さ 3.0m ~ 5.0m	3.0m ~ 5.0m未満
高さ 0.5m ~ 3.0m	0.5m ~ 3.0m未満
高さ 0.5m	0.5m未満

活断層

活断層
活断層
(位置やや不明瞭)
活断層(伏在部)

縦ずれ
地形面の
傾動方向

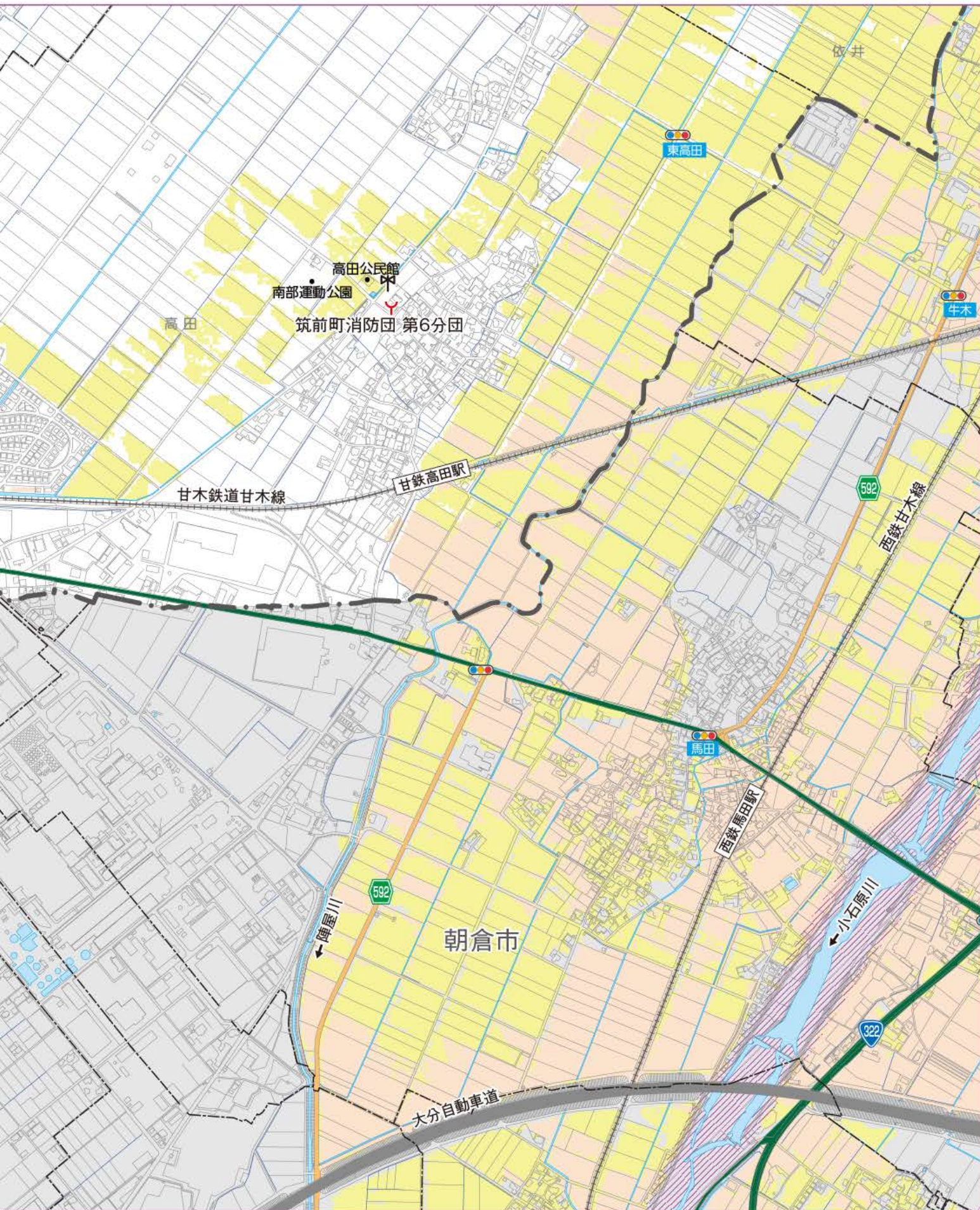
河岸侵食の危険箇所

氾濫流
河岸侵食
令和元年7月豪雨
浸水区域

土砂災害の
危険がある場所

特別警戒区域
(土石流)
警戒区域
(土石流)

特別警戒区域
(急傾斜地の崩壊)
警戒区域
(急傾斜地の崩壊)





洪水・土砂災害

大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

川の氾濫

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防が決壊させて川の水が外にあふれて起きる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増すので最大の注意が必要。



内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まって起きる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。



土砂災害

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気づいた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。また、日ごろから危険箇所や避難所・避難場所・避難経路を確認しておくことも重要です。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

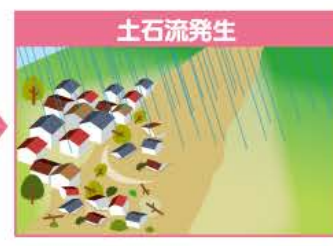
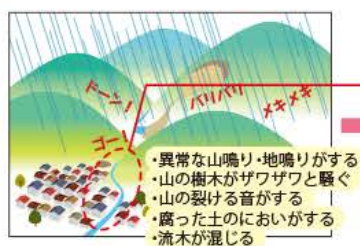
がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が多いため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

洪水ハザード情報について

以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

1 河川水位及び危険度レベル

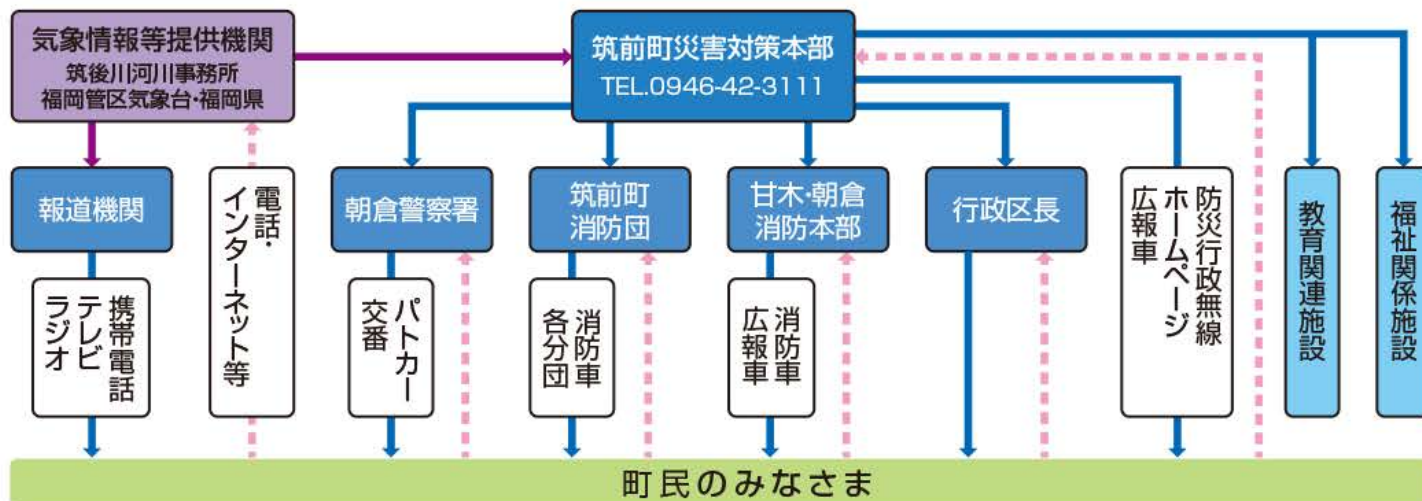
①小石原川(新甘木橋) ②宝満川(下見橋)

レベル	水位	町や住民に求める行動
5		・町および住民は、新たに氾濫が及ぶ区域で避難の判断が必要
4 (危険)	氾濫の発生	・住民の避難完了 避難勧告等の発令
3 (警戒)	氾濫危険水位 ①2.20m ②3.29m	・町は避難勧告等の発令を判断 ・住民は避難の準備や早めの避難を開始 避難準備・高齢者等避難開始情報の発令
2 (注意)	避難判断水位 ①1.90m ②2.93m	・町は避難準備・高齢者等避難開始を判断 ・住民は氾濫に関する情報に注意
1	氾濫注意水位 ①1.79m ②2.68m	
	水防団待機水位 ①1.41m ②2.30m	

※避難勧告等が発令されていなくても、身の回りの危険を感じた場合は、速やかに避難してください。

2 情報の伝達経路

気象情報や避難勧告などは、次のような経路で町民のみなさまに伝達されます。大雨や洪水などの注意報・警報はテレビ・ラジオでも流れますので見落とさないようにしましょう。特に、避難勧告や避難指示(緊急)が出たら速やかに避難してください。



避難勧告などは防災行政無線で放送します。屋外のスピーカーでは、風雨の影響などで放送が聞こえないこともありますので、各ご家庭内に戸別受信機を設置して放送を聞いていただくようお願いしています。

戸別受信機は各世帯に一台、無償で貸出していますので、現在設置されていない世帯は環境防災課消防安全係(0946-42-6609)までお問い合わせください。

風水害・台風

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策。



大雨注意報・大雨警報・大雨特別警報・記録的短時間大雨情報

大雨注意報

大雨による
災害が発生する
おそれがあると
予測される場合。

大雨警報

大雨による重大な
災害が発生する
おそれがあると予測
される場合。

大雨特別警報

台風や集中豪雨により、数十年に
一度の降雨量となる大雨が予想
され、若しくは、数十年に一度の
強度の台風や同程度の
温帯低気圧により大雨になると
予想される場合。

記録的 短時間大雨情報

土砂災害や浸水害、
中小河川の洪水害の
発生につながるような
猛烈な雨が
降っている場合。

雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

10mm 以上～ 20mm未満	20mm 以上～ 30mm未満	30mm 以上～ 50mm未満	50mm 以上～ 80mm未満	80mm 以上～
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10m/ 秒以上～ 15m/ 秒未満	15m/ 秒以上～ 20m/ 秒未満	20m/ 秒以上～ 25m/ 秒未満	25m/ 秒以上～
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

(平均風速:m/秒)

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。
台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速 15m/ 秒 以上の半径	強さ	最大風速
大型 (大きい)	500km 以上～ 800km 未満	強い	33m/ 秒 以上～ 44m/ 秒 未満
超大型 (非常に大きい)	800km 以上	非常に強い	44m/ 秒 以上～ 54m/ 秒 未満
		猛烈な	54m/ 秒 以上

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりによく発生します。
発生の予測は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ◆ ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- ◆ 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- ◆ 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- ◆ 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- ◆ 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- ◆ 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- ◆ 非常時持出品を準備しておく。
- ◆ 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備する。

常に気象情報には、
注意しておきましょう！





地震

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

1～2分

最初の大きな揺れは約1分間

- ◆まず、身を守る安全確保 手近な座布団などで頭を保護
- ◆すばやく火の確認 ガスの元栓、コンセント
- ◆大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



揺れがおさまったら

- ◆火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- ◆家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- ◆靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- ◆避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等要注意
- ◆津波などの危険が予想される地域はすぐ避難



3分

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- ◆要配慮者の安全確保 隣近所で助け合う
- ◆行方不明者はいないか ◆ケガ人はいないか

出火防止 初期消火

- ◆初期消火 消火器を使う バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく
- ◆漏電・ガス漏れに注意 ◆電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める ◆余震に注意

5分

ラジオなどで正しい情報を得る

- ◆大声で知らせる ◆救出・救護を ◆防災機関、自主防災組織の情報を確認
- ◆デマにまどわされないように ◆避難時に車は極力使用しない
- ◆電話は緊急連絡を優先する



10分

協力して消火活動、救出・救護活動

- ◆水、食料は蓄えているものでまかなう ※3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- ◆災害・被害情報の収集 ◆無理はやめよう
- ◆助け合いの心が大切 ◆壊れた家に入らない

3日

揺れやすさマップ

揺れやすさマップとは？

地盤や地形のデータをもとに、筑前町で想定される地震が発生した場合に、どのくらいの震度が予想されるかを示したものです。

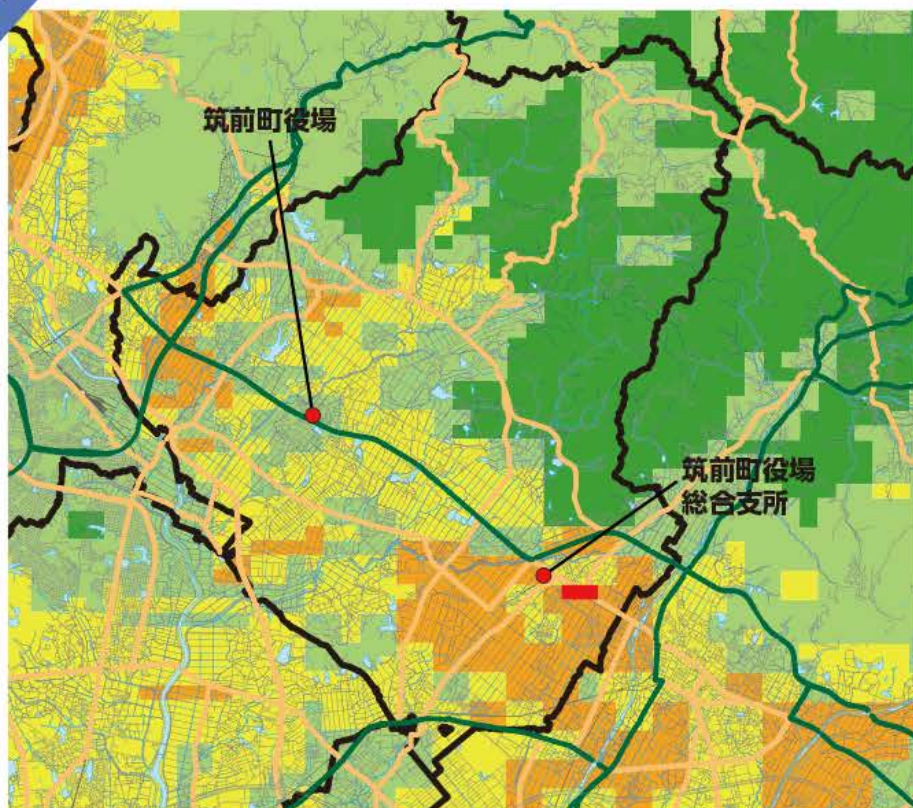
地震の規模が最も大きいと予想されている警固断層帯南東部(志賀島南方沖の博多湾から筑紫野市に至る断層帯)が活動した場合を想定しています。

なお、2005年福岡県西方沖地震の活動により、地震が発生する可能性は、より高くなっているという指摘もあります。

・地震の規模 マグニチュード7.2
・発生確率(今後30年) 0.3～6%(高い)
※地震調査研究推進本部 平成31年2月

震度分布

- 震度 7
- 震度 6 強
- 震度 6 弱
- 震度 5 強
- 震度 5 弱



防災対策&チェック

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

家の中の安全対策

☐ 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。

☐ 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



☐ 寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



☐ 安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

家具の転倒、落下を防ぐポイント

☐ タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



☐ 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



☐ 照明

チェーンと金具を使って数か所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



☐ 冷蔵庫

扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



☐ テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。



☐ ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。

家の周囲の安全対策

☐ 屋根

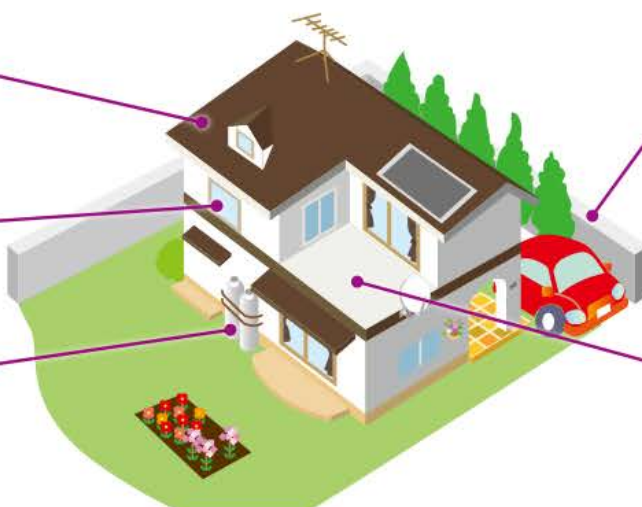
不安定な屋根のアンテナや屋根瓦は補強しておく。

☐ 窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。

☐ プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。



☐ ブロック塀・門柱

土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

☐ ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

非常時持ち出し品の準備&チェック

非常時持ち出し品(例)

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。
事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

携帯ラジオ



- ☐ ラジオ
- ☐ 電池(多めに用意)

救急医療品



- ☐ 常備薬
- ☐ 絆創膏
- ☐ 傷薬
- ☐ 包帯
- ☐ 風邪薬
- ☐ 胃腸薬
- ☐ 鎮痛剤

貴重品



- ☐ 現金
- ☐ 預金通帳
- ☐ 印鑑
- ☐ 免許証
- ☐ 健康保険証
- ☐ 権利証書

懐中電灯



- ☐ 懐中電灯
(できれば一人にひとつ)
- ☐ 電池(多めに用意)



非常食品等

火を通さなくて
食べられるもの、
食器など

- ☐ 非常用食品
- ☐ 水筒
- ☐ 缶切り
- ☐ 缶詰
- ☐ 紙皿
- ☐ ミネラルウォーター
- ☐ 紙コップ
- ☐ 栓抜き



その他

- ☐ ろうそく
- ☐ 軍手
- ☐ 応急手当用品
- ☐ 衣類(下着・上着など)
- ☐ 生理用品
- ☐ 離乳食
- ☐ 粉ミルク
- ☐ ティッシュ
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ ヘルメット
- ☐ ラップフィルム
(止血や食器にかぶせて使う)
- ☐ ハザードマップ(本書)
- ☐ ロープ
- ☐ ホイッスル
- ☐ ハサミ
- ☐ 筆記用具・メモ帳
- ☐ 家族の連絡先
- ☐ 安否確認方法
- ☐ タオル
- ☐ 紙おむつ
- ☐ カップ
- ☐ ライター
- ☐ 携帯電話
- ☐ 携帯電話の充電器
- ☐ ゴミ袋
- ☐ ビニールシート

非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック☑しましょう。

飲料水



- ☐ 飲料水としてペットボトルや
缶入りのミネラルウォーター
(1人1日3リットルを目安に)
- ☐ 貯水した防災タンクなど

非常食品



- ☐ お米(缶詰・レトルト・アルファ米
も便利)
- ☐ 缶詰・レトルト食品
- ☐ 梅干し・調味料など
- ☐ ドライフーズ・チョコレート・
アメ(菓子類など)

燃料



- ☐ 卓上コンロ
- ☐ ガスボンベ
- ☐ 固形燃料

その他



- ☐ 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- ☐ 毛布・寝袋・洗面用具・
ドライシャンプーなど
- ☐ 調理器具(なべ・やかんなど)
- ☐ バケツ・各種アウトドア用品など

定期点検!

いざというときに支障がないように、食品類の賞味期限や持ち出し品の不備を定期的に点検しましょう。

非常時持ち出し品は定期的に点検を!

避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、
地図、さし、スコップなど。



阪神・淡路大震災で役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、新聞紙、補助用具として
スコップ、ボールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持ち出し品は、使用するとき支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限は
はまめにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。

特別警報をご存じですか？

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする新しい警報です。
普段からの備えと早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

特別警報の 発表基準

現象の種類	基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合
暴風	暴風が吹くと予想される場合
高潮	高潮になると予想される場合
波浪	高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

※表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

大津波警報 などを 特別警報に 位置づけます

現象の種類	基準
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)
地震 (地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)

特別警報が 発表されたら

- ◆尋常でない大雨や津波などが予想されています。
- ◆重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ◆ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

命を守るために情報の収集に努めてください

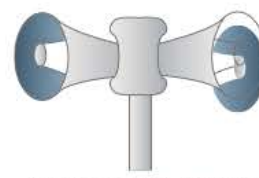
特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



テレビ・ラジオ



インターネット・
気象庁ホームページ



防災行政無線・広報車

「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。

これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

◎インターネット防災情報

福岡管区気象台	https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/
気象庁土砂災害警戒情報	https://www.jma.go.jp/jp/dosha/
福岡県河川防災情報	http://www.kasen.pref.fukuoka.lg.jp/bousai/
筑前町役場	https://www.town.chikuzen.fukuoka.jp/

災害時の緊急連絡について

◎非常時緊急連絡先

役場		電力	
筑前町役場	0946-42-3111	九州電力甘木営業所	☎ 0120-986-208
消防		電話	
甘木・朝倉消防本部	0946-22-0119	NTT	(局番なし)113
甘木・朝倉消防署 西部分署	0946-42-4711		☎ 0120-444-113
警察		病院	
朝倉警察署	0946-22-0110	社団うら梅の郷会 朝倉記念病院	0946-22-1011
朝倉警察署 夜須交番		日新会 稲永病院	0946-22-0288
朝倉警察署 三輪交番		太刀洗病院	0946-22-2561

◎防災メール配信システム

防災情報等をあなたにお知らせします。

防災メール・まもるくん

© CyberConnect2 Co., Ltd.

福岡県が提供する防災情報等のメール配信システムです。
携帯電話やパソコンに、防災に関する情報や地域の安全情報などをお知らせします。登録は無料です。(通信料は利用者負担です。)

- ◆登録方法◆
- ①空メール送信
送信先/mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp
 - ②HPから登録
アドレス/http://www.bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp/
- ◆お問合せ先◆ 福岡県総務部防災危機管理局防災企画課 電話092-643-3114

QRコードからも登録できます



(①空メール送信) (②携帯HP)

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

◎NTT災害用伝言ダイヤル

災害時の家族等への連絡にご利用ください。



※伝言の保存期間は録音してから2日(48時間)です。
保存期間を経過した時点で自動的に消去されます。

詳しくは、<https://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

災害時の連絡先・避難所などを書き込みましょう!

■家族などの連絡先

名 前	緊急連絡先(会社・学校)	住 所	生年月日	血液型

■避難所

■離ればなれになったときの家族などの集合場所